

さらなる価値創造に向けて
ビックカメラグループ中期経営計画

- Vision 2029 -

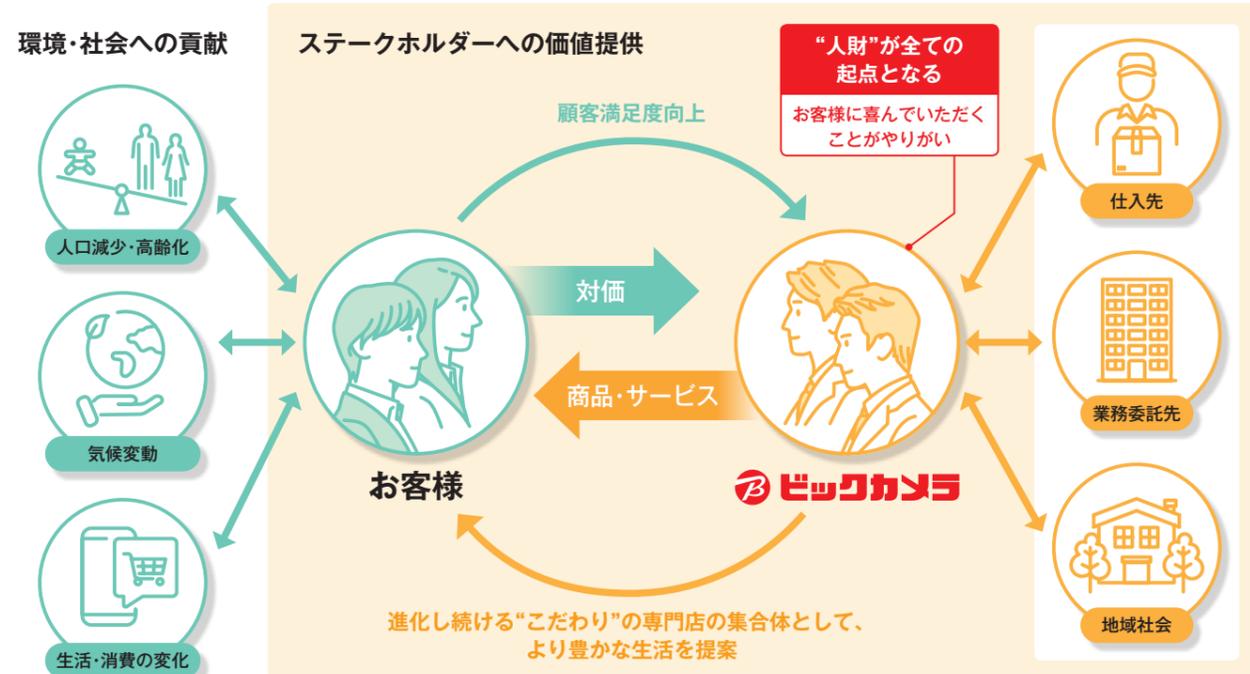
サステナビリティ



ビジネスモデルと 人財で創る持続可能な未来

当社グループのビジネスモデルは、社会と事業のサステナビリティ推進に直結しています。このモデルを最大限に活用するための重要な資本が、当社グループ最大の強みである「人財」です。私たちは、「お客様に喜んでいただきたい」という想いを原動力に、個々が主体的に専門性を磨き続けることで、全てのステークホルダーの期待を超える価値を創出します。さらに、「生活適合業態」として、より豊かな生活と持続可能な社会を築き、共に発展してまいります。

取締役 執行役員
サステナビリティ推進室長 **根本 奈智香**



サステナビリティマネジメント

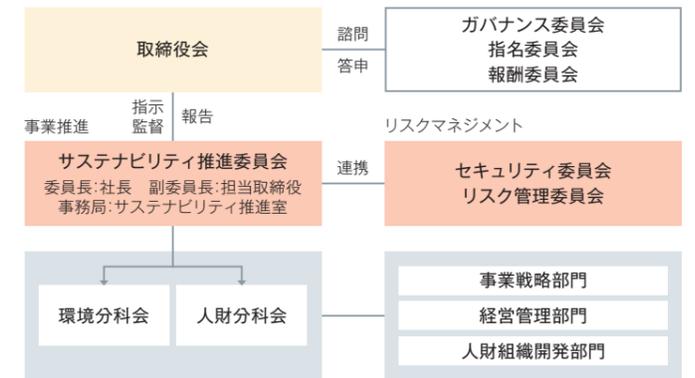
サステナビリティ方針

“人”を大切に、“人”を成長の原動力として、社会と共に発展します
ビックカメラグループは、「お客様喜ばせ業」をつなぎ、期待を超える」というパーパスを基に、人財を最大の強みとし、その力を事業活動に活かすことで、企業価値を向上させ、社会課題の解決を実現します。全てのステークホルダーの皆様に喜んでいただくために、経済を循環させる購買促進、環境に配慮した商品・サービスの提供、そしてより豊かな生活を提案することにこだわり、事業の推進そのものが社会貢献へと繋がる、当社グループならではの価値創出に挑み続けます。

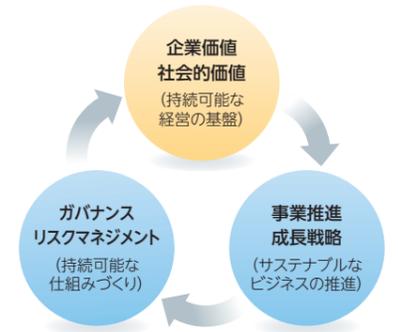
テーマ	取り組み	詳細
環境 (E)	気候変動への対応・環境保全	▶P38-39
	サーキュラーエコノミーの推進	
社会 (S)	人権の尊重	▶P40
	健康経営の推進	▶P37
	人財戦略	▶P34-36
ガバナンス (G)	コーポレート・ガバナンス	▶P42-49

サステナビリティ経営推進体制

サステナビリティ経営を推進するため、代表取締役社長を議長、全執行役員、常勤監査等委員を構成員とする「サステナビリティ推進委員会」を設置し、最重要経営課題を審議する体制を構築しています。進行期において、本委員会の位置づけを諮問委員会から事業推進の一環として社内委員会に変更し、各部門が主体となってサステナビリティを推進する体制へ強化しました。さらに、専門的かつスピーディーな課題解決を図るため、委員会直下に分科会を設置し、事業を通じた取り組みを加速させています。加えて、リスクマネジメントの観点からセキュリティ委員会・リスク管理委員会と連携し、サステナビリティ経営の実効性を高めています。取締役会は、サステナビリティ推進委員会の報告を受け、指示・監督を行っています。



環境分科会	ESGのEを担う分科会
	気候変動対応・サーキュラーエコノミーの推進
人財分科会	ESGのSを担う分科会
	人権の尊重・健康経営・人的資本経営の推進



サステナビリティ推進委員会での主な議論

サステナビリティ推進委員会は、2022年の設置以来23回開催し、2024年8月期は全12回実施しました。前半は当社グループ最大の資本である人財に関する議論を中心に、従業員エンゲージメント向上の制度や風土改革を検討。後半は環境・ガバナンスに注力し、TCFDに基づく気候変動対策や透明性の高い情報開示を推進しました。

